伊豆の国市自主運行バス（韮山循環線）の奈古谷停留所について

平成 24 年 5 月 30 日に開催した平成 24 年度第 1 回地域公共交通会議において、ご要望のありました、市自主運行バス（韮山循環線）の奈古谷停留所について、報告します。

１　経緯

当市の自主運行バスである韮山循環線は、主に奈古谷地区及び沿線地域の幼稚園児や小学生が通園・通学用として利用しており、奈古谷停留所からは 50 名前後の小学生が乗車しているが、当該バス停はカーブ付近にあるため、バス待ちをしている児童が危険ではないかという意見が奈古谷区民からあった。

通学途中の児童の列に自動車が突っ込むという事故も発生しているため、バス停の移設等、児童の安全の確保について検討してほしい旨、当会議委員　神尾様（奈古谷区長）から要望があった。

奈古谷停留所を設置している道路は県道であるため、市建設課を通じて静岡県沼津土木事務所に相談したところ、県内全域の通学路の調査を行うため、調査後に検討したい旨の回答があった。

２　結果

（１）バス停西側の歩道にガードレールを設置。（別添写真のとおり）

（２）当該バス停を利用する小学生には、ガードレールのある歩道内でバスを待つよう韮山小学校から指導を行う。

バス待ちの状況①

バス待ちの状況②

施工前①

施工前　②

施工後①

施工後②

施工後③（バス停移設後）

施工後④（バス停移設後）